

【参考様式】

平塚市生物多様性配慮チェックシート

事業実施者名	
事業名	
事業実施場所	平塚市

Ⅰ 遺伝子の多様性への配慮

配慮の視点	配慮事項	該当	実施状況	実施した内容
① 遺伝子攪乱要素の排除	① 植栽等の緑化には、在来種を用いる			
	② 外来種の持ち込みを防止する (重機、作業靴底等の清掃)			
	③ 侵略的外来生物の駆除を行う			
	④ 外来種の侵入防止対策を行う			
	⑤ 生息地が限定される種は、同一地域内に移動、移植する			
② 野生動物の移動ルートの確保	① 野生動物の生息地や移動ルートを改変しない計画を立てる			
	② 移動ルートを分断する場合は、野生動物が移動できるトンネルや横断橋を置する			
	③ コリドー(回廊)として、緑地の連続性を確保する			
	④ 鳥類や飛翔性昆虫類が自動車に衝突しないような植栽の高さを維持する			
	⑤ 鳥類の移動ルートでの飛来地保全のために緩衝林を創出する			
	⑥ 水路等の構造物は小動物の移動・脱出ルートを確保する			
	⑦ 水域(河川・水路等)の連続性を保つためスリットダムや魚道を採用する			

2 種の多様性への配慮

配慮の 視点	配慮事項	該当	実施 状況	実施した内容
① レッド データ 種の 保全	① 文献等を参考に、生息・生育している種を把握する			
	② モニタリングを実施し、生息・生育している種を把握する			
	③ 希少動植物の生息・生育地を保全する			
	④ 希少野生動物が生息・生育している地域では、保護・保全のため、緑地等の緩衝地帯を確保する			
	⑤ 生息・生育環境の改変を最小限に留めるルートや範囲の選定、工法、構造を採用する			
出 ② 多様な 緑地・ 水辺 環境 などの 保全・ 創	① 水源地への影響を考慮し候補地を選定する			
	② 樹木・草木の植栽により緑地を創出する			
	③ 周辺植生との調和に配慮した植栽を実施する			
	④ 水域と陸域、異なる水域間での連続性を確保する			
	⑤ 高木層から草本類までの階層的な構造を確保する植栽を実施する			
排除 ③ 騒音 などの 環境 影響 要因 の	① 野生生物の繁殖地周辺では、低騒音、低振動機械を使用する			
	② 光の届く範囲を必要最低限にするための遮光植栽やライトの位置を検討する			
	③ 野生生物の繁殖期や集団渡来時期に配慮した工事内容にする			
	④ 自然環境への影響期間を短縮する			

3生態系の多様性への配慮

配慮の 視点	配慮事項		該当	実施 状況	実施した内容
育空間の確保 ①生きものの生息・生	①	貴重な地形、地質はその形態が失われないように、影響が少ない規模、配置にする			
	②	動植物の生息・生育環境を保全する			
	③	貴重な生態系を有する、樹林や湿地等を保全する			
間の回復・創出 ②生きものの生息・生育空	①	工事に伴って、改変した自然環境を復元する			
	②	樹木を植栽し、緑地を創出する			
	③	エコトーン（質の異なる環境の移行帯）を創出する			
ネットワーク化 ③生きものの生息・生育空間の	①	野生動物の移動経路を設置する			
	②	コリドー（回廊）として、道路法面の緑化などにより緑地の連続性を確保する			
	③	水域（河川）の連続性を確保する			
	④	建物には壁面及び屋上の緑化を行う			

【記入例】

平塚市生物多様性配慮チェックシート

事業実施者名	
事業名	
事業実施場所	平塚市

Ⅰ 遺伝子の多様性への配慮

配慮の視点	配慮事項	該当	実施状況	実施した内容
① 遺伝子攪乱要素の排除	① 植栽等の緑化には、在来種を用いる	○	○	①法面の緑化に、在来種○○を使用した。
	② 外来種の持ち込みを防止する（重機、作業靴底等の清掃）	○	○	②マニュアルを整備し、清掃を徹底した。
	③ 侵略的外来生物の駆除を行う	○	○	③④計画地に繁殖していた、オオキンケイギクの駆除を実施すると共に、毎年の監視をマニュアル化した。
	④ 外来種の侵入防止対策を行う	○	○	⑤希少な動植物の生息・生育地を避けて計画を立てたため該当なし。
	⑤ 生息地が限定される種は、同一地域内に移動、移植する			
② 野生動物の移動ルートの確保	① 野生動物の生息地や移動ルートを改変しない計画を立てる	○	○	①事前調査で把握した生息地を避けるルートを採用し、移動ルートを分断しないように配慮した。
	② 移動ルートを分断する場合は、野生動物が移動できるトンネルや横断橋を設置する			③⑤周辺の緑地との連続性を確保するため、計画地外縁では自然林を保存した
	③ コリドー（回廊）として、緑地の連続性を確保する	○	○	④植栽は、大型車両の車高を上回る高さ5mで実施した。
	④ 鳥類や飛翔性昆虫類が自動車に衝突しないような植栽の高さを維持する	○	○	⑥計画地内に設置した側溝の一部を加工し、スロープとすることで、脱出経路を確保した。
	⑤ 鳥類の移動ルートでの飛来地保全のために緩衝林を創出する	○	○	
	⑥ 水路等の構造物は、小動物の移動・脱出ルートを確保する	○	○	⑦計画地内に水域がないため該当なし。
	⑦ 水域（河川・水路等）の連続性を保つためスリットダムや魚道を採用する			

2 種の多様性への配慮

配慮の視点	配慮事項	該当	実施状況	実施した内容
① レッドデータ種の保全	① 文献等を参考に、生息・生育している種を把握する	○	○	①②③〇〇県のレッドリストや▲▲市の自然環境調査記で生息している種を確認するとともに、事前のモニタリング調査で希少野生生物◆◆及び■の生息を確認したため、◆◆については繁殖時期を避けた施工時期を設定、■については生息地を避けた設計とした。 ④計画地外縁に周辺との緑地確保のため植樹を実施した。 ⑤切盛土の範囲を最小にする設計とし、土地の改変を最小限に抑えた。
	② モニタリングを実施し、生息・生育している種を把握する	○	○	
	③ 希少動植物の生息・生育地を保全する	○	○	
	④ 希少野生動物が生息・生育している地域では、保護・保全のため、緑地等の緩衝地帯を確保する	○	○	
	⑤ 生息・生育環境の改変を最小限に留めるルートや範囲の選定、工法、構造を採用する	○	○	
② 多様な緑地・水辺環境などの保全・創出	① 水源地への影響を考慮し候補地を選定する			②③⑤計画地のある地域に生息している樹木や草本類を植栽し、緑地を確保するとともに、周辺地域との緑の連続性も確保した。 ①④は該当なし。
	② 樹木・草木の植栽により緑地を創出する	○	○	
	③ 周辺植生との調和に配慮した植栽を実施する	○	○	
	④ 水域と陸域、異なる水域間での連続性を確保する			
	⑤ 高木層から草本類までの階層的な構造を確保する植栽を実施する	○	○	
除 ③ 騒音などの環境影響要因の排除	① 野生生物の繁殖地周辺では、低騒音、低振動機械を使用する	○	○	①低騒音・低振動の小型重機を利用した。 ②計画地内に設置する照明は誘因性の少ない照明とした。 ③④野生動物◆◆の繁殖地となっているため、繁殖時期の〇月～〇月は工事を一時中断した。また、●●の飛来時期に工期が重ならないように、計画を立てた。
	② 光の届く範囲を必要最低限にするための遮光植栽やライトの位置を検討する	○	○	
	③ 野生生物の繁殖期や集団渡来時期に配慮した工事内容にする	○	○	
	④ 自然環境への影響期間を短縮する	○	○	

3生態系の多様性への配慮

配慮の視点	配慮事項		該当	実施状況	実施した内容
育空間の確保 ①生きものの生息・生	①	貴重な地形、地質はその形態が失われないように、影響が少ない規模、配置にする	○	○	①②計画地内に自然林があるため、構造物の建築場所を変更した。 ③樹林と接している個所には植樹をし、自動車の走行音や生活音を軽減した。
	②	動植物の生息・生育環境を保全する	○	○	
	③	貴重な生態系を有する、樹林や湿地等を保全する	○	○	
間の回復・創出 ②生きものの生息・生育空間	①	工事に伴って、改変した自然環境を復元する	○	○	①施工に設置した工事車両用の進入路や駐車スペースは原状回復した。 ②植栽は、その地域に自生している種を採用した。 ③計画地やその周辺は樹林地帯のため該当なし
	②	樹木を植栽し、緑地を創出する	○	○	
	③	エコトーン（質の異なる環境の移行帯）を創出する			
ネットワーク化 ③生きものの生息・生育空間の	①	野生動物の移動経路を設置する	○	○	①ボックスカルバートによる横断道や、動物の移動通路（アニマルパスウェイ）を○個所設置した。 ②樹林の連続性を損なわないように配慮した植樹を実施した。 ④屋上緑化には在来種を採用したが、壁面緑化は実施せず。
	②	コリドー（回廊）として、道路法面の緑化などにより緑地の連続性を確保する	○	○	
	③	水域（河川）の連続性を確保する			
	④	建物には壁面及び屋上の緑化を行う	○	△	